

コミュニティ食堂のごあんない

(いわき市平久保町11-4) 平第14区公民館

[ご予約・お問い合わせ] 地域外の方も。どなたでもお待ちしております。

NPO法人「共創のまちサポート」代表・増子裕昭 ☎090-6251-5814

朝食開催 Morning 毎週(火)(水) 6:30~8:30

おとな300円 こども(中学まで)50円 (祝日はお休みです)

ランチ開催 Lunch 毎月第3土曜日 11:00~13:00

4月は20日 5月は18日です ★フリータイムがあります。

<<こんな方大歓迎!>>

昔の遊びを伝えたい!

意外な特技を披露したい!

対戦したい!

鍋料理ならおまかせ?!



昨年コミュニティ食堂開設以来、ほぼ毎回きてくださった須田さんが4月から郡山へ転勤となりました。果物・お菓子など差し入れもたくさんいただきました。本当にありがとうございました。新しい職場でも、どうかお元気で!



朝ごはん How Much?

コンビニ派



栄養不足が心配...



自炊派



朝は忙しい！材料を揃えるのが大変！

コミュニティ食堂の朝ごはんをどうぞ！



これで300円！
中学以下50円

野菜・果物たっぷり！
食材をまとめて購入・調理することで低価格でご提供できます。



地域の皆さんと楽しく会話
1日の活力が生まれ
意外な情報が得られるかも？！

子ども食堂など「子ども支援」8団体助成 福島民友愛の事業団

2019年03月21日 09時10分 いいね! 85 シェア ツイート 810



福島民友愛の事業団（理事長・五阿弥宏安福島民友新聞社長）は20日、福島市の福島民友新聞社で社会福祉推進事業助成金の贈呈式を行った。子ども食堂などの運営に携わる県内8団体に各20万円、計160万円を助成した。

五阿弥理事長が「皆さんの活動は次世代の子どものために大きな役割を果たしている。活動がより広く認知されることを願っている」とあいさつし、各団体の代表者に目録を手渡した。

各代表者が活動報告を行った。「しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福島」の園田萌さんは「今後一人一人に寄り添った支援をしていきたい」、「共創のまちサポート」の増子裕昭理事長は「新年度はさらに事業を拡大していければと思う」と、各代表者はそれぞれ謝辞や意欲などを口にした。

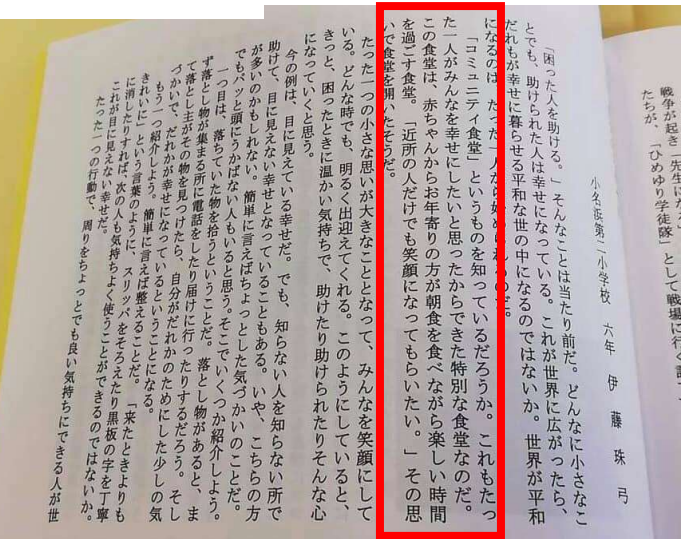
助成金を受けた（前列左から）園田さん、増子理事長、官野代表、古瀬理事長（後列左から）遠藤所長、遠藤さん、渡辺代表理事、大貫さん、本田さん

このほか、つなぐ舎の菅野秀樹代表、学校法人まゆみ学園二本松市まゆみこども食堂の古渡一秀理事長と本田智子さん、星総合病院大町キッズスペースの遠藤真弘所長、キッズスタジオPORTAの遠藤祐香さん、ツッカラの渡辺啓二代表理事、寺子屋方丈舎の大貫和弥さんが出席した。

福島民友愛の事業団様より社会福祉推進事業助成金として20万円いただきました。食堂運営充実につながります。

トルコリラ/円スワップ 120円

小名浜二小の伊藤珠弓さんがコミュニティ食堂について書いてくれた作文がいわきユネスコ協会作文コンクールで協会長賞を受賞されました。おめでとう！&丁寧に書いてくれてありがとう！



「困った人を助ける。そんなことは当たり前だ。どんなに小さなことでも、助けられた人は幸せになっている。これが世界に広がったら、だれもが幸せになれる平和な世の中になるのではないかな。世界が平和になるのは、たまたま一人が助けたからか？」

「コミュニティ食堂」というものを知っているだろうか。これもたまたま一人がみんなを幸せにしたいと思ったからできた特別な食堂なのだ。この食堂は、赤ちゃんとお年寄りの方が朝食を食べながら楽しい時間を過ごす食堂。近所の人だけでも笑顔になってもいい。その思いが食堂を助けたのだ。

たった一つの小さな思いが大きなことになって、みんなを笑顔にしている。どんな時も、明るく出迎えてくれる。このようにしているとき、きつと、困ったときに温かい気持ちで、助けたら助けられたりそんな心になっていくと思う。

今の例は、目に見えている幸せだ。でも、知らない人を知らない所で助けて、目に見えない幸せとなっていることもある。いや、こちらの方が多いのかもしれない。簡単に言えば、お世話になった気持のことだ。でも、お世話になった気持をどうやって伝えるか。お世話になった人が、お世話になったことをどうやって伝えるか。お世話になった人が、お世話になったことをどうやって伝えるか。お世話になった人が、お世話になったことをどうやって伝えるか。